

第2回「（仮称）ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会

日時：令和6年5月9日（木）午後3時00分～
場所：ライトキューブ宇都宮 2階 大会議室201

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議の公開について
- 4 議 題
○（仮称）ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について 資料1
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

〔配布資料〕

- ・ 次第・名簿
- ・ 資料1（仮称）ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

第2回「(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画」策定懇談会 出席者名簿

(敬称略)

分野	所属/職名	氏名	出欠	代理者職名	代理者氏名
学識経験者	早稲田大学理工学術院 教授	◎森本 章倫	出		
	東京大学大学院 教授	中井 祐	出		
	宇都宮大学 准教授	○長田 哲平	出		
関係団体	J R宇都宮駅西口地区まちづくり協議会 会長	市村 耕三	出		
	J R宇都宮駅西口地区まちづくり協議会 副会長	坂本 守弥	出		
	ゼビオホールディングス株式会社 副社長執行役員	近野 泰	出		
	株式会社日本エスコン 開発事業本部 首都圏開発2部 PM部マネージャー	庄司 元康	出		
	宮の橋・田川活性化プロジェクト実行委員会 実行委員長	村上 龍也	出		
	築瀬地区連合自治会 会長	栗原 伸一	出		
	錦地区連合自治会 会長	増田 良二	出		
	社会福祉法人 宇都宮市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	宮前 俊哉	出		
	特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり推進機構 事務局長	寺澤 悦夫	欠		
	宇都宮商工会議所 常務理事兼事務局長	小関 裕之	出		
	独立行政法人 都市再生機構 東日本都市再生本部 まちづくり支援部 部長	鈴木 孝弘	出		
交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社 企画総務部経営戦略ユニットユニットリーダー	伊藤 滋	出		
	J R宇都宮駅西口構内バス協議会 (関東自動車株式会社 代表取締役社長)	吉田 元	出		
	J R宇都宮駅西口構内タクシー組合 (泉タクシー株式会社 代表取締役社長)	荒井 勝	欠		
	宇都宮ライトレール株式会社 常務取締役	中尾 正俊	出		
行政機関	栃木県 県土整備部交通政策課 課長	石崎 浩	代理	課長補佐	亀山 泰剛
	栃木県 県土整備部都市政策課 課長	日原 順	代理	課長補佐	坂入 芳昭
	栃木県警察本部 交通部交通規制課 課長	若林 勝也	代理	課長補佐	村上 晃規

◎：会長 ○：副会長

※下線の方は人事異動等により新たに就任された委員

資料 1



宇都宮市
Utsunomiya City

第2回(仮称)ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定懇談会

(仮称)ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

＜将来像の実現に向けて目指すべき駅西口周辺地区の構造イメージ＞

◎ 趣 旨

第1回懇談会において共有された将来像やその実現に向けた取組方針を具体化していくため、
官民が整備を進めていく際の目指すべき駅西口周辺地区の構造イメージについてご意見を伺うもの

令和6年5月9日（木）

宇都宮市 都市整備部 市街地整備課

○ 第1回懇談会(R5.12.18)における主な意見について

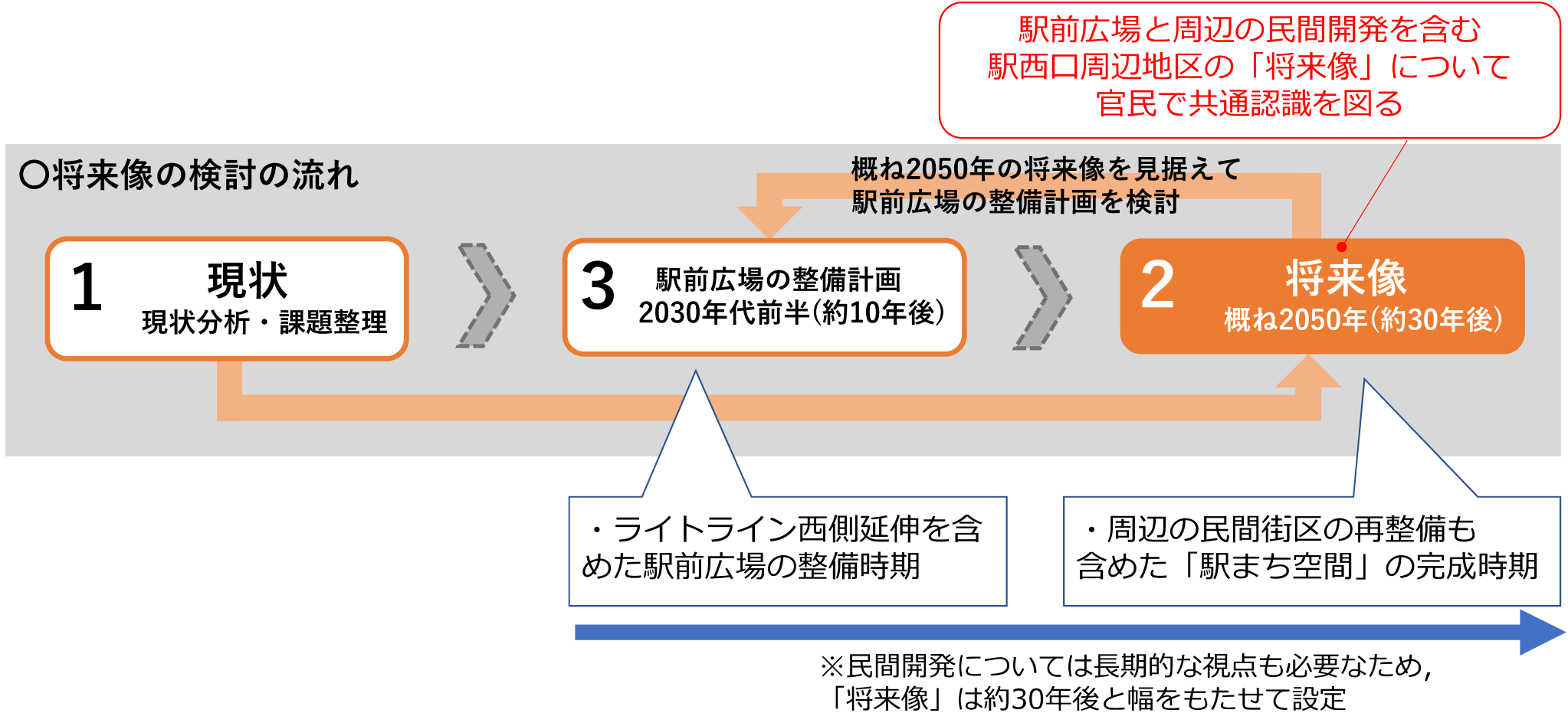
- (1) 駅西口周辺地区の将来像の検討の流れ（第1回懇談会で提示）
- (2) 駅西口周辺地区の将来像（第1回懇談会で提示）
- (3) 将来像の実現に向けた取組方針（第1回懇談会で提示）
- (4) 主な意見

○(仮称)JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

- (1) 将来像（概ね30年後）の実現に向けた体系図
- (2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ
 - ① 都心部の都市骨格（都心部まちづくりプランより）
 - ② 駅まち空間を中心とした4つの軸
 - ③ 人中心の「駅まち空間」形成に向けた時間軸
 - ④ 軸の形成に向けた「自動車動線」の設定
 - ⑤ 軸の形成に向けた「歩行者動線」の設定

第1回懇談会における主な意見について

(1) 駅西口周辺地区の将来像の検討の流れ（第1回懇談会で提示）



第1回懇談会における主な意見について

(2) 駅西口周辺地区の将来像（第1回懇談会で提示）

県都の玄関口にふさわしい風格とにぎわい溢れる
「交通」と「まち・水・緑」が調和した人中心の居心地の良い空間

将来像を構成する4つの視点

空間

にぎわい・
交流空間の
創出



交通

交通結節
機能の
強化



景観

風格と魅力
ある都市景観
の形成



社会状況の変化を踏まえた対応

社会状況

第1回懇談会における主な意見について

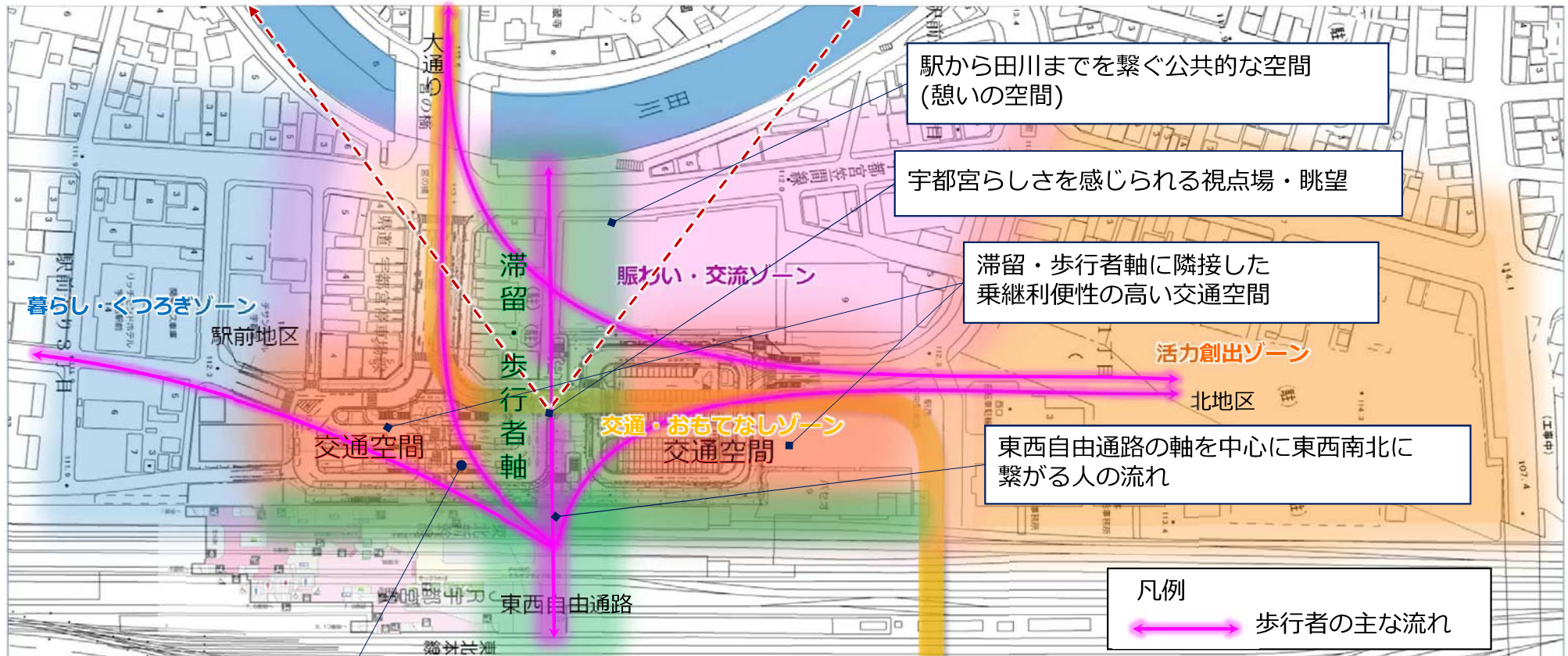
(2) 駅西口周辺地区の将来像（第1回懇談会で提示）

将来像コンセプト → 将来像の実現に向けた戦略

空間	人中心の新たな「駅まち空間」 ▶ 車から人中心の空間へ転換していくことで、人々の賑わい溢れる居心地の良い空間を形成 ・ 駅の東側から西側の中心市街地へと人々をいざなうため、東西自由通路の軸を中心とし、東西南北に人の流れが繋がるよう動線を結ぶ ・ 駅から田川付近までを駅まち一体の公共的な空間とし、人々の憩いの空間を創出 ・ 居心地が良くウォークアブルな空間とするため、人の滞留空間を地上部に創出 ・ 北地区の賑わい創出のため、駅、大通りと北地区が繋がるよう動線を結ぶ
交通	誰もが安全・安心に移動でき、多様なモビリティが連携した交通空間 ▶ 公共交通の利便性向上と自動車・歩行者が安全・円滑に移動できる空間を形成 ・ 歩行者を中心とした、誰もが安全・安心に移動できるスムーズでわかりやすい乗換環境を創出 ・ 交通環境の変化など将来を見据えた適切な交通空間の配置
景観	水と緑を活かした統一感のある景観形成 ▶ 宇都宮の地域資源との繋がりを感じられる、水と緑を活かした統一感のある景観を形成 ・ アイレベルでの景観に配慮した駅前空間を創出 ・ 田川を活かした景観など宇都宮らしさを感じられる視点場・眺望を創出
社会状況	社会変化に対応できる、人と環境に優しい空間 ▶ 多様化するニーズや社会潮流の変化に対応できる、人と環境に優しい空間を形成 ・ 多様化するニーズや社会潮流の変化への柔軟な対応 ・ 地区内における脱炭素化に資する機能誘導や防災性の向上、情報通信技術の積極的な活用など

第1回懇談会における主な意見について

(3) 将来像の実現に向けた取組方針（第1回懇談会で提示）



※ 基本構想における「賑わい・交流ゾーン」や「交通・おもてなしゾーン」などの役割を整理

第1回懇談会における主な意見について

(4) 主な意見

計画全般に対する意見

- ・公共や民間の敷地に縛られずに駅とまちが一体となったまちづくりに向けて大きく検討、世界に誇れるような案をつくっていききたい。
- ・特に「地べた」という一番公共性の高い空間について、公共・民間が協働で宇都宮の顔として豊かな空間を作り出していく議論が出来るが良い。
- ・約30年後の将来像を見据えながら約10年後の駅前広場の検討を進めていくので、今後進んでいく自動運転やライドシェアなどの要素を考えながら議論が出来るが良い。
- ・将来像コンセプトを考える要素として、上位・関連計画との整合性が確認できるような要素があると良い。

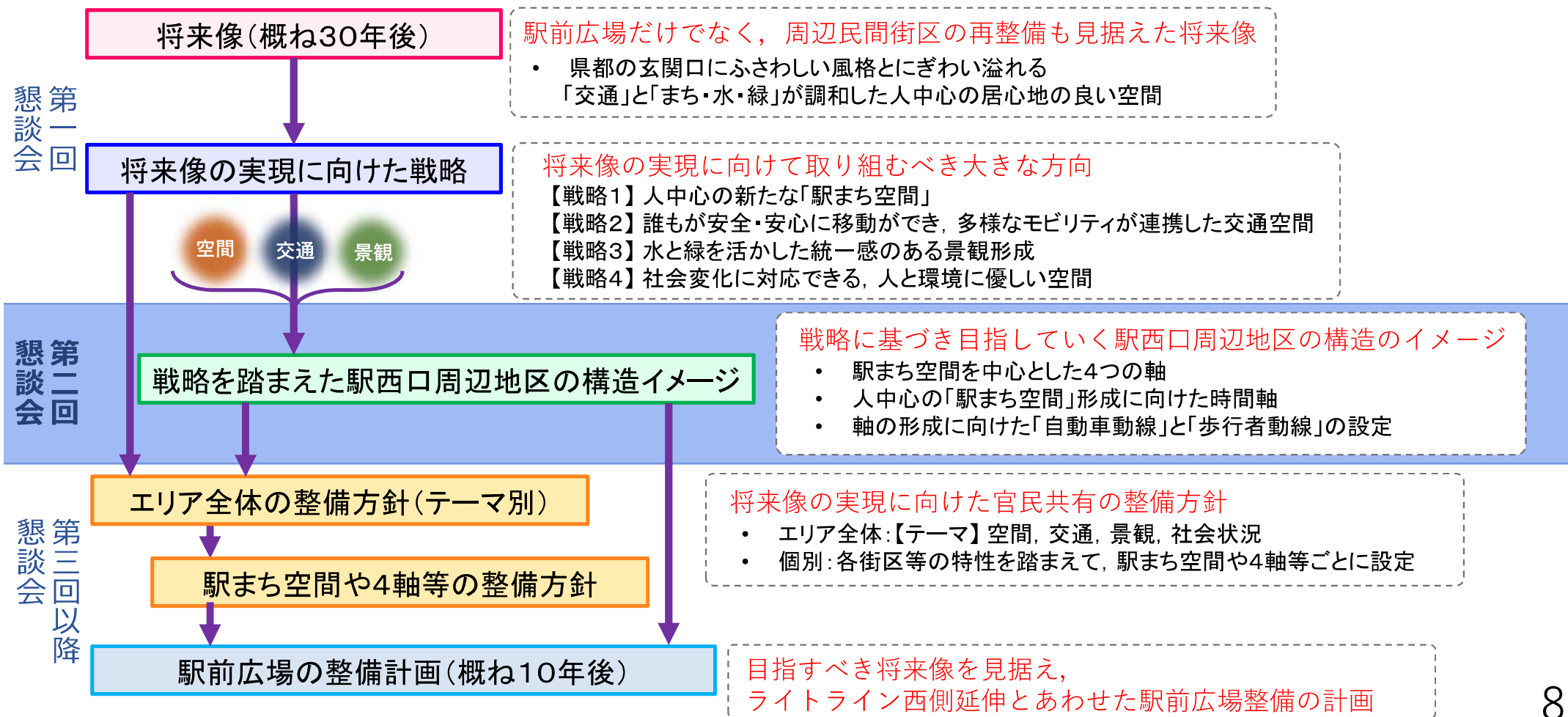
将来像や取組方針に対する意見

- ・「インクルーシブ[※]な都市」という考えが非常に重要で、誰もがこのエリアを本当に楽しい空間だと思えるまちづくりを考えれば、間違いなく空間の価値が出てくる。
- ・東西自由通路から田川までの空間利用については是非とも前向きな検討をしていきたい。
- ・現在の西口のデッキは、スペースが限られているので、来訪者におもてなしが出来るような空間を作った方が良い。
- ・北地区について、活力創出に繋がるような空間を作ってほしい。
- ・例えばバス待ち列のように今の空間が不足しているからといって、安易に空間を広げれば良いという結論をだすのではなく、公共交通それぞれの役割や将来的な需要を考慮に入れて、対応についてはしっかり検討してほしい。
- ・交通結節機能の強化という視点では「歩かせない」「濡らさない」「待たせない」という3つの視点が重要

※インクルーシブとは、障がいの有無や国籍・年齢・性別などに関係なく違いを認め合い、共生していくことを目指すことを言います。

(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

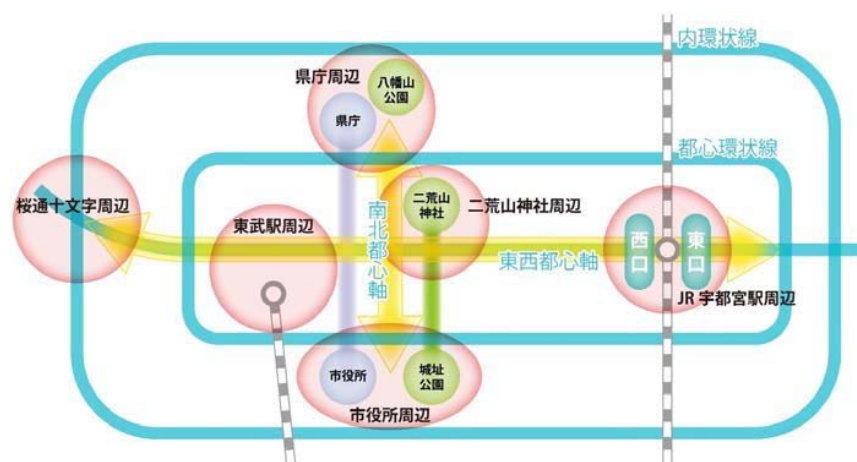
(1) 将来像（概ね30年後）の実現に向けた体系図



(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

① 都心部の都市骨格（都心部まちづくりプラン(令和6年2月)より）



図：「宇都宮市都心部グランドデザイン」等を踏まえた骨格となる都市構造

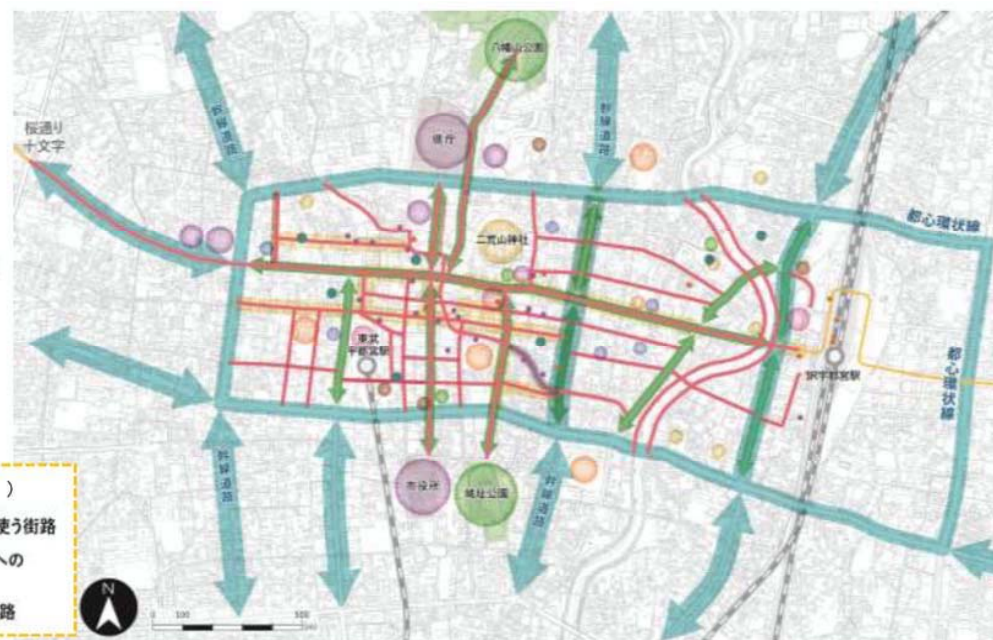
・「J R 宇都宮駅周辺」「二荒山神社周辺」「東武駅周辺」「桜通十文字周辺」の各拠点とそれらを結ぶ『東西都心軸』，さらには「県庁周辺」「市役所周辺」の各拠点とそれらを結ぶ『南北都心軸』を骨格とした都市構造

- ・駅西口周辺地区は県都の玄関口として、多様な交通の結節点であるとともに、ヒト・モノ・情報が集まる広域的な交流拠点
- ▶『東西都心軸』の起点となるエリア

- 凡例（施設等）
- ：公益施設
 - ：主要な公園緑地
 - ：社寺仏閣
 - ：病院
 - ：教育施設
 - ：宇都宮百景
 - ：その他の名称（ケーキングマップ等目的地）
 - ：大谷石建造物
 - ：カクテルバー
 - ：餃子店
 - ：商店街
 - ：大規模小売店舗
 - ：ライトライン

凡例（「街路空間の使い方」）

- ⇄：広域的な自動車移動で使う街路
- ⇄：拠点間の移動や大通りへのアクセスで使う街路
- ：人の回遊・滞在で使う街路



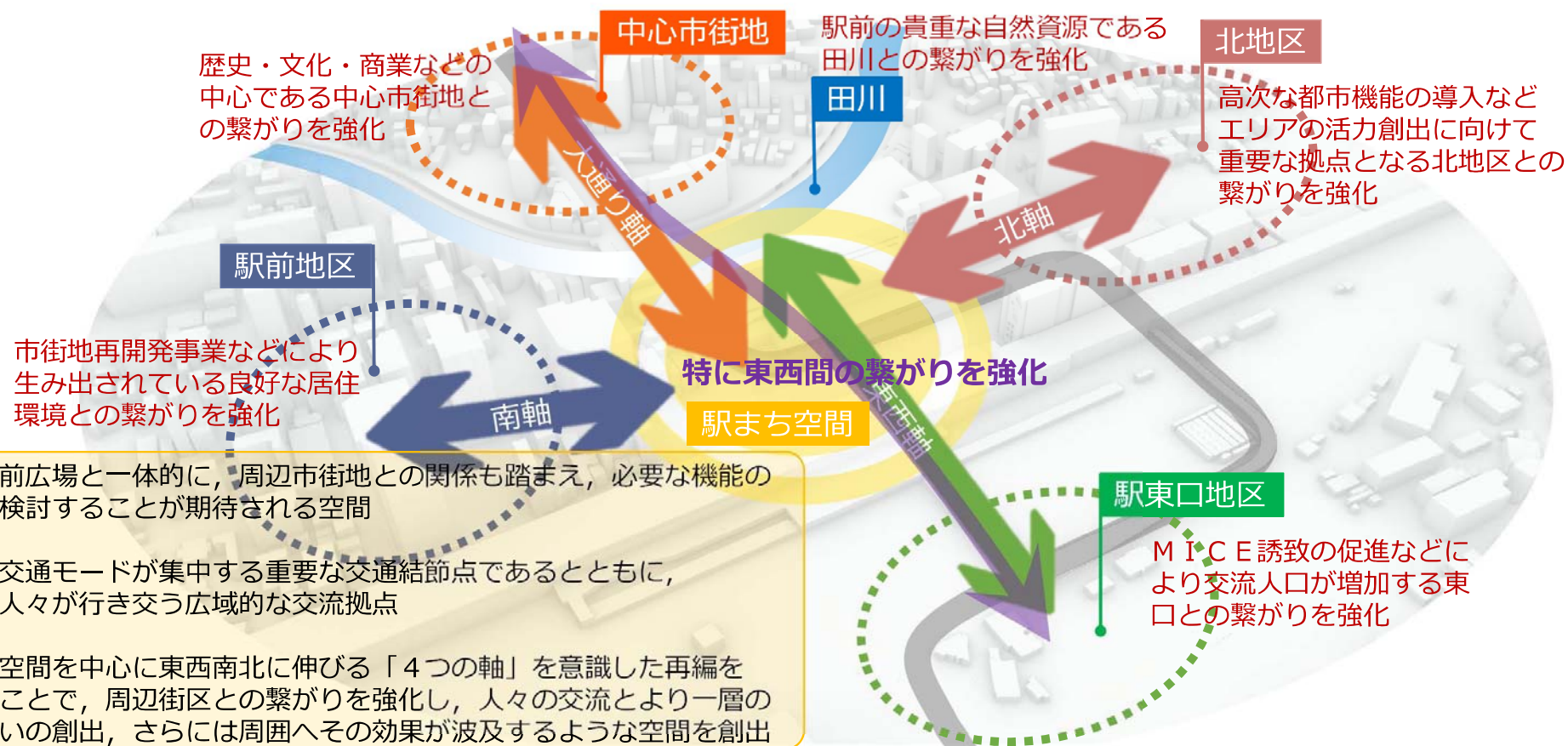
図：都心環状線内側の「街路空間の使い方」

(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

② 駅まち空間を中心とした4つの軸

東西都心軸を踏まえ、駅まち空間を中心に「大通り軸」「東西軸」を形成するとともに、周辺街区の土地利用構想を踏まえ、南北へも軸を形成



駅まち空間

- 駅や駅前広場と一体的に、周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能の配置を検討することが期待される空間

【特性】

様々な交通モードが集中する重要な交通結節点であるとともに、多くの人々が行き交う広域的な交流拠点

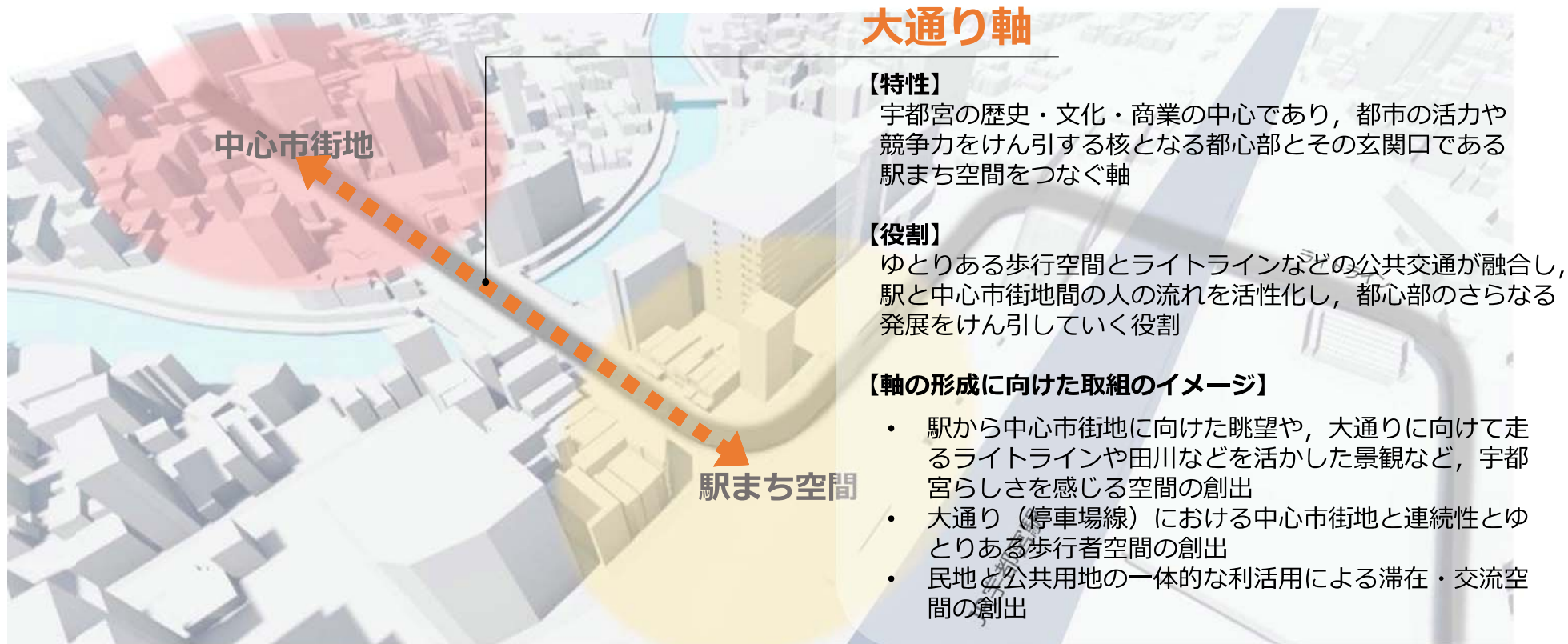
【役割】

駅まち空間を中心に東西南北に伸びる「4つの軸」を意識した再編を進めることで、周辺街区との繋がりを強化し、人々の交流とより一層のにぎわいの創出、さらには周囲へその効果が波及するような空間を創出

(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

② 駅まち空間を中心とした4つの軸



(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

② 駅まち空間を中心とした4つの軸

東西軸

【特性】

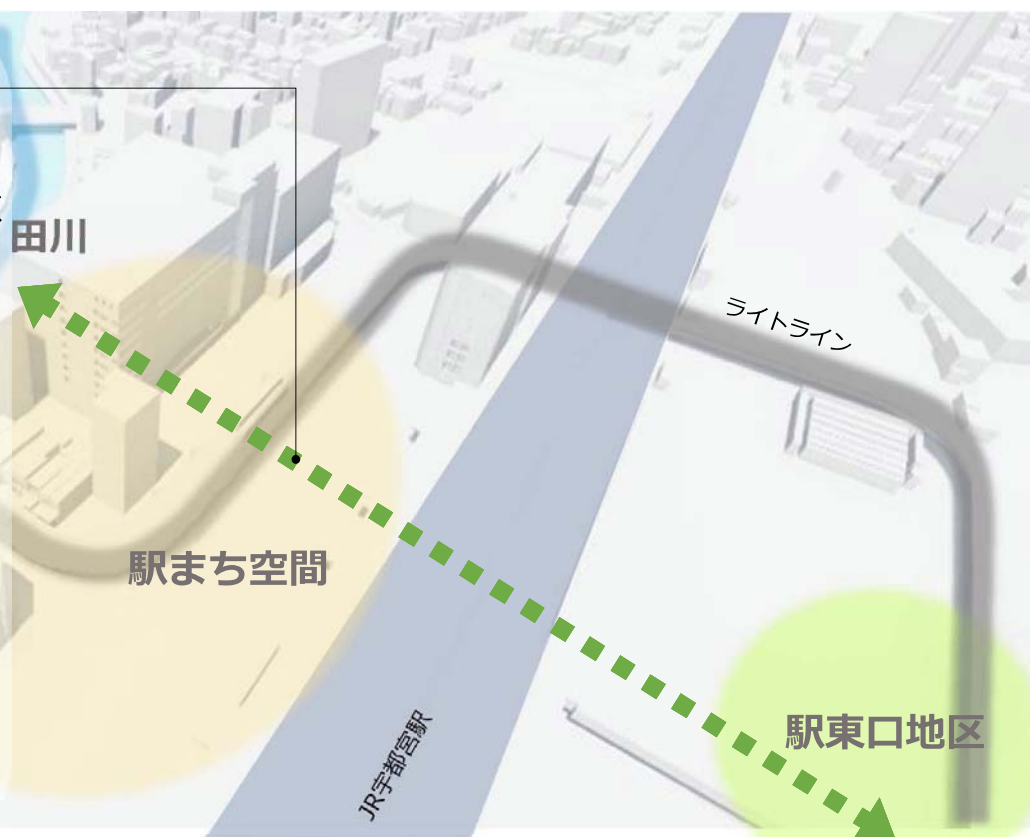
ライトキューブ宇都宮におけるM I C E誘致促進などによりにぎわう駅東口と駅西口をつなぎ、さらには駅前の自然資源である田川をつなぐ軸

【役割】

駅前に憩いを創出する自然資源である田川を活かしつつ、人々の回遊や滞留を促し、駅東西間でにぎわいや利便性を享受し合う役割

【軸の形成に向けた取組のイメージ】

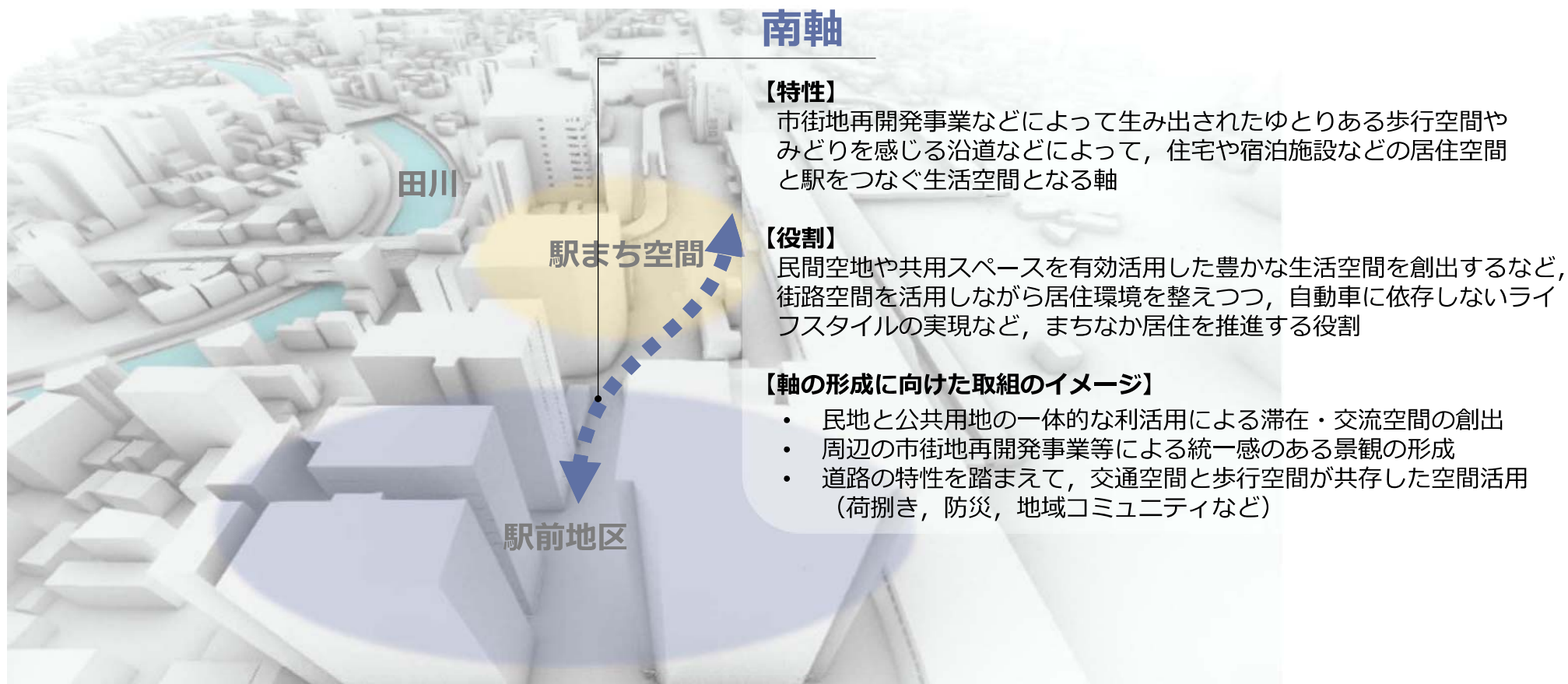
- ・ 駅東口から中心市街地へつながり、県都の玄関口を象徴する「宇都宮らしさ」を感じる空間の創出
- ・ 人の滞留を促すための緑や憩いを感じることができる居心地の良い、開放的な空間の創出
- ・ 地域をはじめ、人々の活動が生まれる人中心の空間の創出



(仮称) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

② 駅まち空間を中心とした4つの軸



(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

② 駅まち空間を中心とした4つの軸

北軸

【特性】

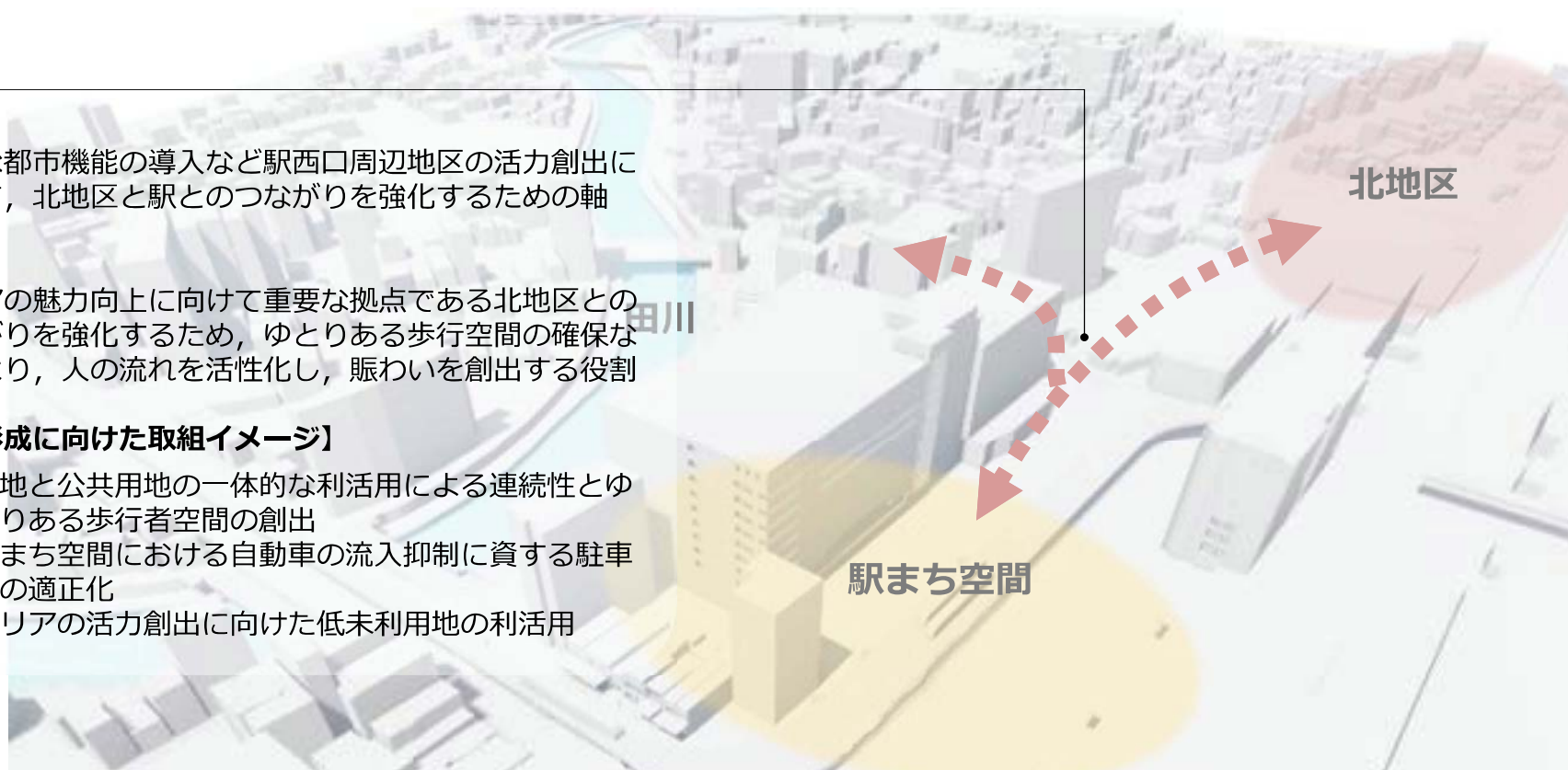
高次な都市機能の導入など駅西口周辺地区の活力創出に向けて、北地区と駅とのつながりを強化するための軸

【役割】

エリアの魅力向上に向けて重要な拠点である北地区とのつながりを強化するため、ゆとりある歩行空間の確保などにより、人の流れを活性化し、賑わいを創出する役割

【軸の形成に向けた取組イメージ】

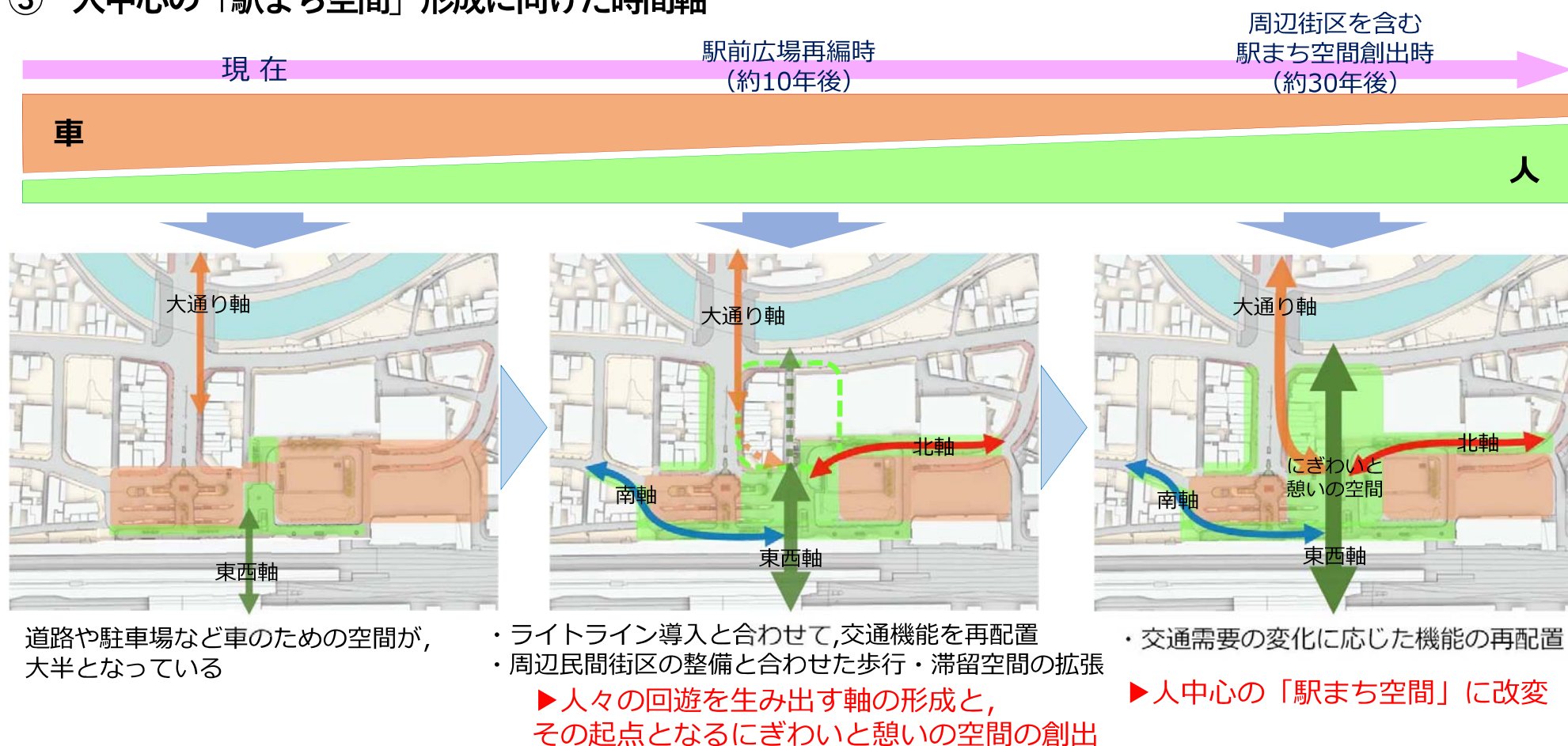
- ・ 民地と公共用地の一体的な利活用による連続性とゆとりある歩行者空間の創出
- ・ 駅まち空間における自動車の流入抑制に資する駐車場の適正化
- ・ エリアの活力創出に向けた低未利用地の利活用



(仮称) J R 宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ

③ 人中心の「駅まち空間」形成に向けた時間軸



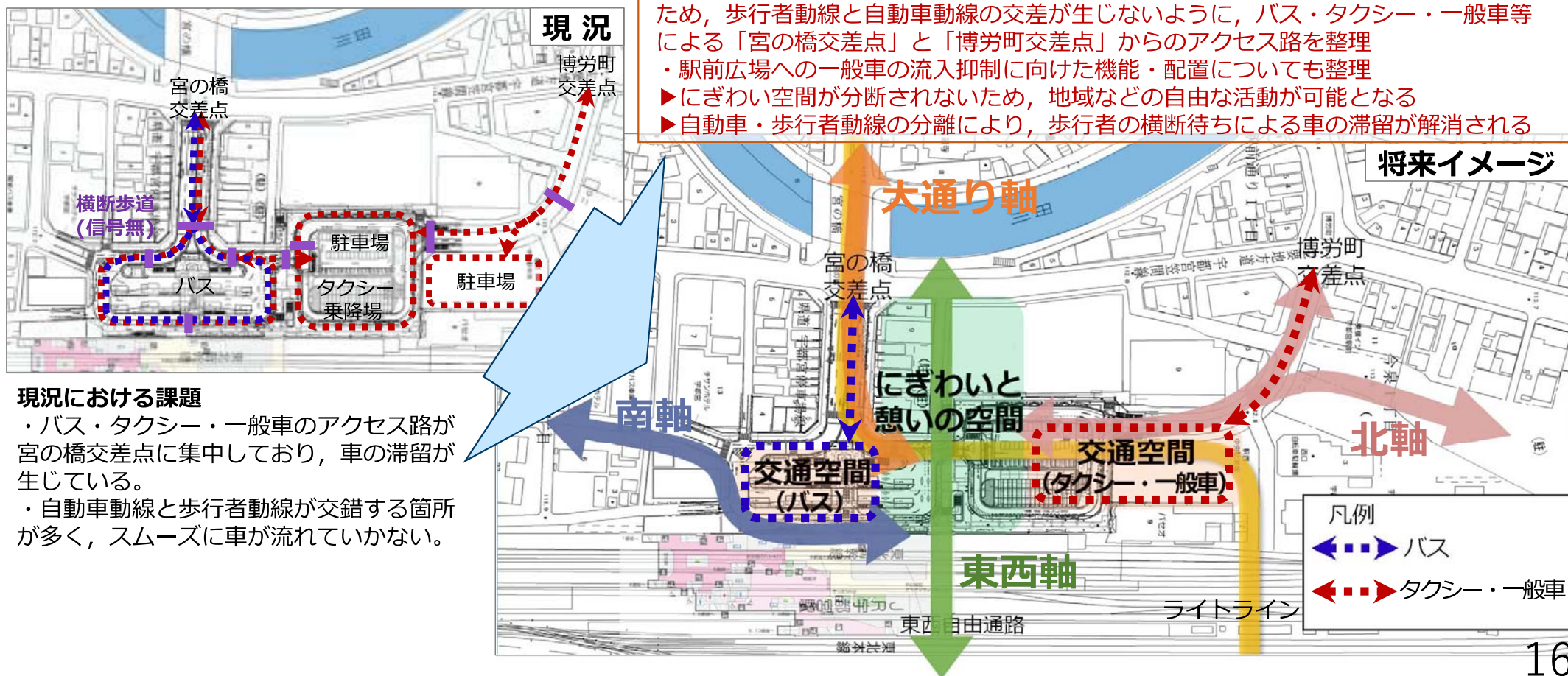
(仮称) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ（公共交通・自動車の流れ）

④ 軸の形成に向けた「自動車動線」の設定

自動車動線の考え

- ・ 駅から田川までを人中心のにぎわい空間として安全・安心に活用できるようにするため、歩行者動線と自動車動線の交差が生じないように、バス・タクシー・一般車等による「宮の橋交差点」と「博労町交差点」からのアクセス路を整理
- ・ 駅前広場への一般車の流入抑制に向けた機能・配置についても整理
- ▶ にぎわい空間が分断されないため、地域などの自由な活動が可能となる
- ▶ 自動車・歩行者動線の分離により、歩行者の横断待ちによる車の滞留が解消される



現況における課題

- ・ バス・タクシー・一般車のアクセス路が宮の橋交差点に集中しており、車の滞留が生じている。
- ・ 自動車動線と歩行者動線が交錯する箇所が多く、スムーズに車が流れていかない。

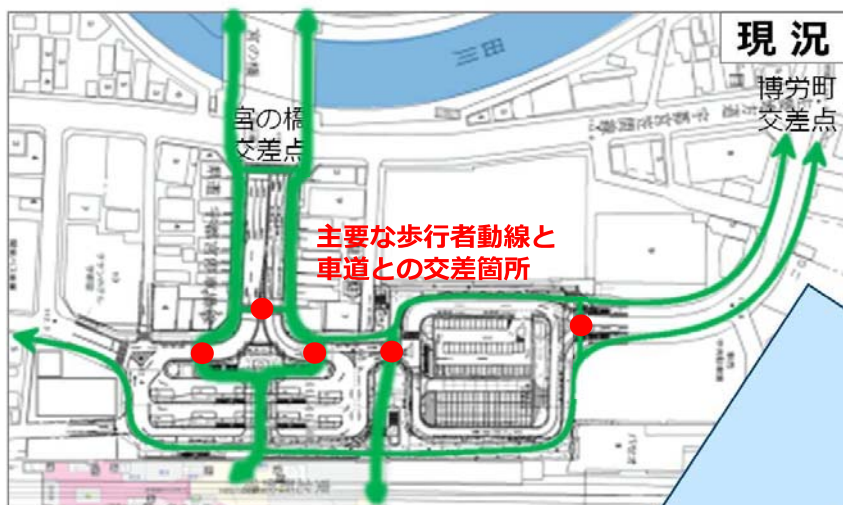
(仮称) JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画について

(2) 戦略を踏まえた駅西口周辺地区の構造イメージ (人の流れ)

⑤ 軸の形成に向けた「歩行者動線」の設定

歩行者動線の考え

- ・にぎわい空間を中心にデッキも活用しながら東西南北にスムーズな人の流れを作り出す
- ・特に駅・田川・都心部といった東西間のつながりを強化するため、アイレベルでの景観に配慮した開放感のある歩きたくなる街並みを形成
- ▶にぎわい空間に人が集まり、人の流れが活性化することにより、新たな事業機会の創出や交流人口の増加が期待できる



現況における課題

- ・人が滞留できる空間が少なく、主要な歩行者動線が分かりにくい。
- ・駅前広場内における主要な歩行者動線と車道が交差する箇所が複数ある。

